

TとYのアイロン道



アイロンがけはコツをつかめば、仕上がりもキレイで時間短縮にもなります。特に使用頻度の高いTシャツとYシャツはポイントをマスターしたいところです。

※アイロンがけを行う際は、衣類の取り扱い表示を確認の上、正しい温度で行ってください。

アイロンがけの達人として雑誌を巻いたり、YouTubeチャンネルのコメントに返信してもらいました！

YouTubeチャンネルのコメント

YouTubeチャンネルのコメント
<https://www.youtube.com/channel/UC1234567890>
<https://www.youtube.com/channel/UC1234567890>
 (株) 0120-0503-16

どんな場面でも上手にアイロンがけしたい方は、ぜひこのチャンネルをフォローしてください。

Tシャツ編

順序とポイント…



- ① ソデ 袖の縫い目を平らにする
- ② スズ 長さを合わせる
- ③ 身ごろ 下から上へ
- ④ エリ アイロン跡を取る二重がけ

ランクアップのひと手間



肩が先してからスタート

ソデは両袖を引っ張りながら、縫いの部分を手前へ引き上げ平らにのぞく



両袖の縫い目をつかみながら、縫い目の上をしっかりとアイロン。布をずらしながら裾を揃え全体にすべらせる



スムーズにすべらせるには、肩幅や裾幅に合わせてアイロン

前身ごろと後ろ身ごろのスズを合わせアイロン



ソデ下の縫い目の両端をピンと張りながら持ち上げ、元の形にもどす。反対のカフス・ソデも同じ要領で

スズからエリまで身ごろ全体にすべらせる



両袖の縫い目をつかみながら、縫い目の上をしっかりとアイロン。布をずらしながら裾を揃え全体にすべらせる



アイロン跡を取る

最後に表に返し、エリグリにアイロンの先をすべり込ませるようにする

Yシャツ編

順序とポイント…



- ① カフス ソデ カフスは裏からアイロン
- ② 肩ヨーク アイロン台の角を利用
- ③ 身ごろ ボタンはスチームがけで仕上げ
- ④ エリ アイロン台の前面を利用

立体的に仕上げるコツ



ソデの裏側からアイロンを、先端を使い、ソデ口のあたりも内側からかけておく



ソデ部分は、台の裏面に布を置かずようにして置き、縫い目を平らにのぞいて全体にアイロン



ソデ下の縫い目の両端をピンと張りながら持ち上げ、元の形にもどす。反対のカフス・ソデも同じ要領で



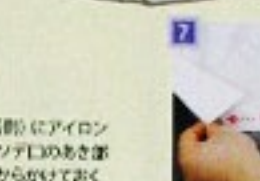
アイロン台の角に肩部分を引っ掛け、エリを立てて平らになったヨークの片側をサッとかける



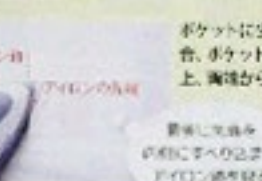
両手でシワを伸ばしながらアイロンをかける



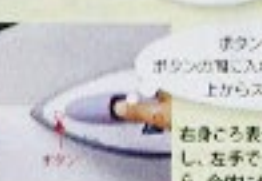
シャツは、まだまっすぐに伸ばしてからアイロンをかける



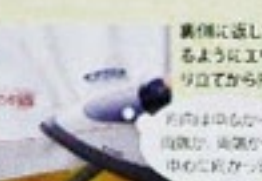
アイロン台の角を利用してアイロンをかける



ポケットに少し余裕がある場合、ポケット口に向かって下から上、裏側から中にすべらせる



ボタンまわりの穴を開けてボタンが埋め込まれた後、ボタンの上からスチームがけしませる



裏側に返し、台の前面に沿わせるようにエリの折り目を置き、エリを立ててアイロンをかける



エリを台の中央に置き、平らにしてアイロンをかける



ハンガーにかけ、アイロンをかける